

■銅グリスの概要■



生産国：ヨーロッパ製

内容量：3g

◎ビニール手袋 1枚付属



特長：-30℃～+1100℃で効果。熱伝導性・通電性・耐熱性・耐水性・摩擦安定性に効果。

主な用途：バッテリーターミナル等の電気接点の通電性アップに。ターミナル表面の微細な凹凸を埋めて面接触させます。

■使用方法■



◎用意するもの

・銅グリス ・付属のビニール手袋 ・10mm スパナ(バッテリーターミナルナット締め緩め用)

・軍手 ・ウエス ・サンドペーパーor ヤスリ(ターミナルを磨く場合に必要)

※サンドペーパーor ヤスリは、バッテリーのターミナルやケーブル側の接続端子を磨くために使用しますが、新しいバッテリーや接続端子がきれいな場合には、特に必要ありません。



1. まず最初にマイナス側のケーブル端子を外します。その後で、プラス側のケーブル端子を外します。
※注意：端子ケーブルを外すとオーディオやラジオ、ナビゲーションシステムのメモリーが消えてしまいますので、必要ならあらかじめバックアップを取っておいてください。また、車(特に外車)によってはコンピューターエラーとなり、復帰させるのにディーラー持ち込みとなる可能性があります。その恐れがあるお車では、端子を外さずに銅グリスをそのまま上から塗ってください。(下方参照)



2. ターミナル部と、必要ならケーブル側の接続端子内側もサンドペーパーで磨き、新しい金属表面を露出させて通電しやすい状態にします。
※バッテリーが新しい場合や、ケーブル側の接続端子内側がきれいな場合は、この作業は特に必要ありません。



3. 付属のビニール手袋をはめ、指先に銅グリスを適量取ります。そして、バッテリーのプラス側とマイナス側」の両ターミナルに銅グリスをまんべんなく塗ります。これで金属の表面が化粧されたようになり、ケーブル端子をはめた時に隙間がきれいに埋まり、表面積の拡大とともに通電性が良くなります。



4. 最後にプラス側、マイナス側の順番にケーブル端子をはめて、スパナでナットをしっかり締め付ければ完了です。
※端子を締め付けるナットに緩みがあると、走行中の振動などで端子がガタつき火花が飛んでバッテリーに引火する可能性がありますので、必ずナットは確実に締め付けてください。



■バッテリーのケーブル端子を外してはいけない車の場合■



プラス側は赤いカバーを持ち上げターミナル端子を露出させます。
プラス側もマイナス側も、ウエスやパーツクリーナーなどを使い、端子表面の汚れを落とします。そして、左の画像のようにターミナル端子に直接銅グリスを塗り、ビニール手袋をはめた指で全体に塗り伸ばせば完了です。 →



※ご自身で施工できない場合は、いつもお世話になっている車屋さんにご相談してください。

※ここまでご説明した銅グリスの施工作業は、ご自身の自己責任の下に施工を行ってください。

(有)ブリッジカンパニー